

低コスト施業の推進に向けた取り組み

渡島森林管理署

【現状・課題・目的】

道南地域の地形は急峻なこと等から、高性能林業機械の導入や、間伐材の搬出・林地未利用材の利用等の様々な課題があります。

これらの課題解決には、施業の集約化や施業の低コスト化が必要となっています。

取り組みに当たっては、振興局や各自治体、事業体等の地域の林業関係者との連携が重要となっています。

【これまでの取り組みや成果】

施業の集約化と効率的な間伐の推進に向けて、モデル的に八雲町や長万部町等に働きかけ、森林整備推進協定の締結に向けて協議を進めています。

また、民有林での列状間伐モデル林の設定や、工程管理プログラムの研修会、一貫作業システムの導入による施業の集約化・効率化などに関する各種の現地検討会、路網の現地確認と検討、ドローンの勉強会等の様々な取り組みを行っています。

【平成30年度の取組結果・成果】

<効率的な施業の推進に向けた森林現況等把握>

GPS機器やドローン等の活用により森林現況を把握整理し、路網作成支援ソフト等の関連プログラムの活用により、多角的な路線の検討や共同（中間）土場の設定等を進めるため、署のドローン活用推進チームと町の担当者とが共同でドローンによる森林の現況や路網線形作成のための地形等のデータ収集を行いました。

また、今後、集約化や効率的な路網などの具体的な検討を進めていき、効率的で低コストな施業の普及・定着を図るため、民国合わせた図面を作成しました。



<ドローン等の活用検討会>

自治体でドローンの配備が進んだことから、森林情報把握等のためドローンの安全な飛行や操作に関する講習会を開催し、ドローン操作の技術の向上を図ることが出来ました。今後も技術的な支援を行うとともに、地域での具体的な活用方法を検討していきます。



<低コスト施業の普及>

新たな森林管理システムの取り組みが本格化する中、低コストな作業システムと一貫作業システムの普及に向けた現地検討会を開催し、安全性や生産性についてハーベスタによる伐倒作業などの稼働実演を行いました。民有林への伐採造林一貫作業の導入・拡大のためこのような機会がまたあると良いという要望も寄せられました。



【今後の目標】

効率的で低コストな施業の普及・定着を目指します。

【今後の取り組みで目指すところ】

○民国合わせた図面を基に、今後、集約化に向けての効率的な路網や施業についての具体的検討を進めます。

○地域林業へのドローン等の活用について、路網設計支援ソフトの活用を検討していきます。

○一貫作業システムの実践に向けた問題点や課題を整理し、地域の議論を深めていきます。